

## 上峰町の特徴や誇れるもの

- ・町域はほとんどが佐賀平野の一部に含まれており、平地が多い。町の北部には平安時代末期の武勇・源為朝が鎮西八郎と称して九州を平定する際、城を築いた「鎮西山」があります。
- ・江戸時代の中ごろから上峰町前牟田地区に伝わる「米多浮立(めたふりゅう)」が、地区の老松神社の秋祭りに奉納される。三人の若者が「天衝(てんつき)」と呼ばれる高さ2.5メートルほどの大きなかぶり物をかぶって舞う「天衝舞(てんつくまい)」は勇壮で、佐賀県重要無形民俗文化財に指定されています。
- ・八藤遺跡から出土した太古木は、今から9万年前の阿蘇山の噴火によって大地に封印されたものであり、他に類を見ない学術的に極めて貴重なものです。

## 上峰小学校の取組

- ・上峰小学校では、5年生が総合的な学習の時間に、地域の産業のひとつである「稲作」について学習し、「稲文字」づくりに取り組みました。
- ・地域の方の協力を得て、6月末に田植えをした稲を、10月末に刈り取りをしました。
- ・児童からは、「稲文字づくりを通して、稲作について、いろいろと知ることができてよかった。」などの声が聞かれました。



## 上峰中学校1年生の取組

- ・上峰中学校では1年生が総合的な学習の時間に、「郷土を知り、自分の将来をイメージする」をテーマに、上峰町の町おこし提案発表会と「米多浮立」「よさこい」「上峰太鼓」「上峰町おこし劇」の4つのグループに分かれ、探究学習や体験学習を行い、故郷上峰の魅力を多くの方々の人に伝えます。

- ・県の重要無形民俗文化財に指定されている「米多浮立」について、その歴史や詳しい内容を米多浮立保存会の方々から学んだことを、文化発表会で全校生徒や保護者に発表します。



- ・「よさこい」「上峰太鼓」も地域の活動グループの方々から教えて頂いて、文化発表会や町の文化祭で踊ったり演奏したりしています。

教育委員会所在地: 三養基郡上峰町大字坊所319-4

連絡先: 0952-52-3908

学校数: 小学校 1校、中学校 1校

## 上峰中学校2年生の取組

- ・2年生は地域の約40の事業所で職場体験学習を行い、地域の仕事を学ぶとともに地域の方々との交流を行います。
- ・町の庁舎の北側にあるイングリッシュ・ガーデンの整備や花植えを行い、美しい町づくりに協力しています。



## 上峰中学校3年生の取組



- ・3年生では、総合的な学習の時間に、「郷土の未来・私たちの未来」をテーマに「子ども議会」に向けた取組を行っています。議会のしくみを学ぶとともに、町の現状や課題を調べ、より良い町にするための条例を自分たちで考える中で、郷土を大切にしたい心が育っています。
- ・子ども議会では、生徒が町長役、議員役、執行部役等に分かれ、実際の議場で審議を行います。
- ・令和6年度は、シビックプライドの醸成・防災・国際交流についての条例が上程されました。